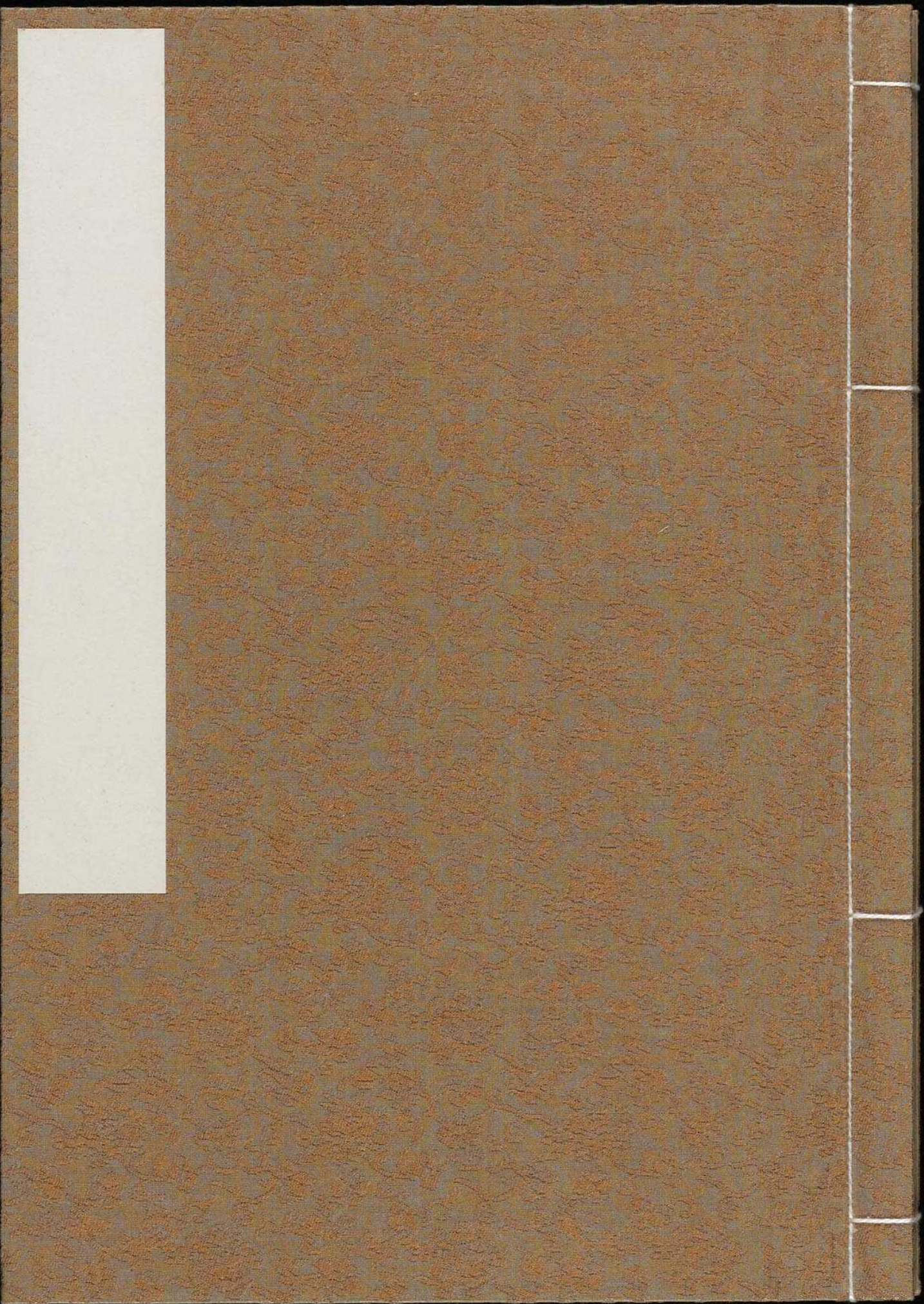
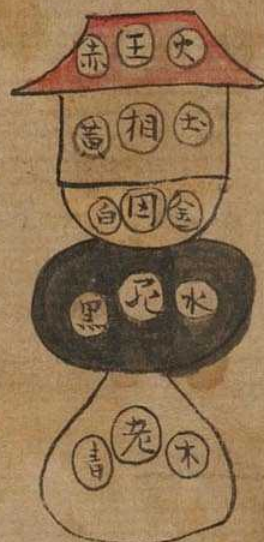
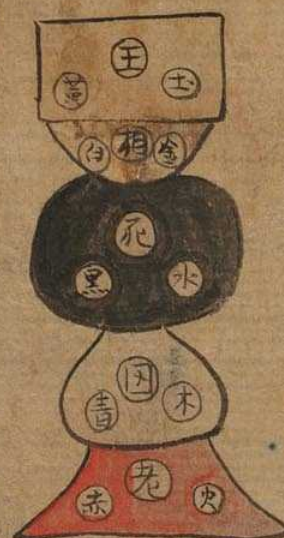
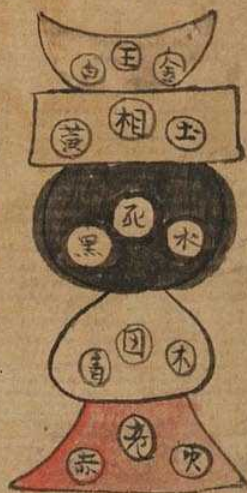
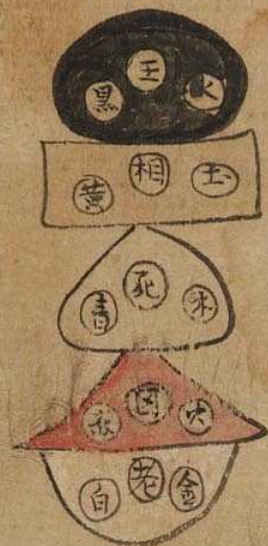


安西流馬医書

麻布大学所蔵





冬 フエ

土用

秋 アキ

土用

復 フタツ

土用 ドヨウ



土用

五輪碑以生死知變志傳也

孔阿字即契之欣

亮呼字是喜之欣

右邊現未之極位顯密之覺者只

乃字以一字般也

皇帝元年撰之 ④ ④

古河僧正王孫

武島廳鼻和住女西弥次郎

重久

是又九年之相傳也

山田右馬之介

高家

五輪碑

初夜コイ

苦カ

法界ホウカイ

木目キモク

脾

中夜チュウヤ

腐ク

成所作セイサク

釈迦シヤカ

腎

日入ニチイリ

腥シヤウ

妙觀察ミョウカクサ

弥陀ミタ

肺

日中ニチチュウ

焦シヤウ

平等生トウジョウシヤウ

宝性ホウジョウ

心

日出ニチイデ

種シュウ

大日鏡タイニチキヤウ

藥師ヤクシ

肝

五時ゴジ

五氣ゴキ

五智ゴチ

五佛ゴブツ

五臟

五歌ゴカ

五心ゴシン

五季ゴキ

五戒ゴケイ

木

殺心サツシン

春

殺生サツシヤウ

火

修行シュウギヤウ

夏

邪淫ジャイン

金

菩提ボダイ

秋

偷過トウダ

水

涅槃ニハツ

冬

妄語モウゴ

土

方便ホウベン

土用

飲酒インシュ

五色ゴシキ

五味ゴミ

五調子ゴテウシ

五根

五

青アヲ

酸スウ

雙スウ

眼ガン

赤アカ

苦ク

黃ワウ

舌ゼツ

白ハク

辛シン

平ヘイ

鼻ビ

黑クワク

醜ウ

盤バン

耳ミミ

黃ワウ

耳ミミ

一イチ

唇シブツ

地チ

水スイ

風フウ

火カ

空クウ

肉

中央

戊己

黍

粳

酸

智

胃

三坤

皆斷

骨

北

壬癸

大豆

慈苳

耳

禮

膀胱

三坎

中連

氣

西

庚辛

稻

蘭葱

舌

信

大腸

三兌

上斷

血

南

丙丁

麥

蒼葱

鹹

義

小腸

三離

中斷

筋

東

甲乙

胡麻

大豆

辛

仁

膽

三震

下連

五所

五方

五干

五穀

五辛

五毒

五常

五臟

五卦

丑未陰

辰戌陽

寅陽

子陽

申陽

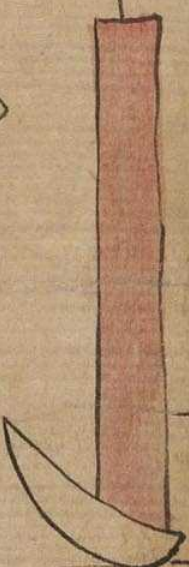
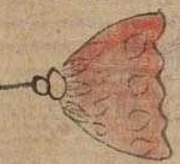
酉陰

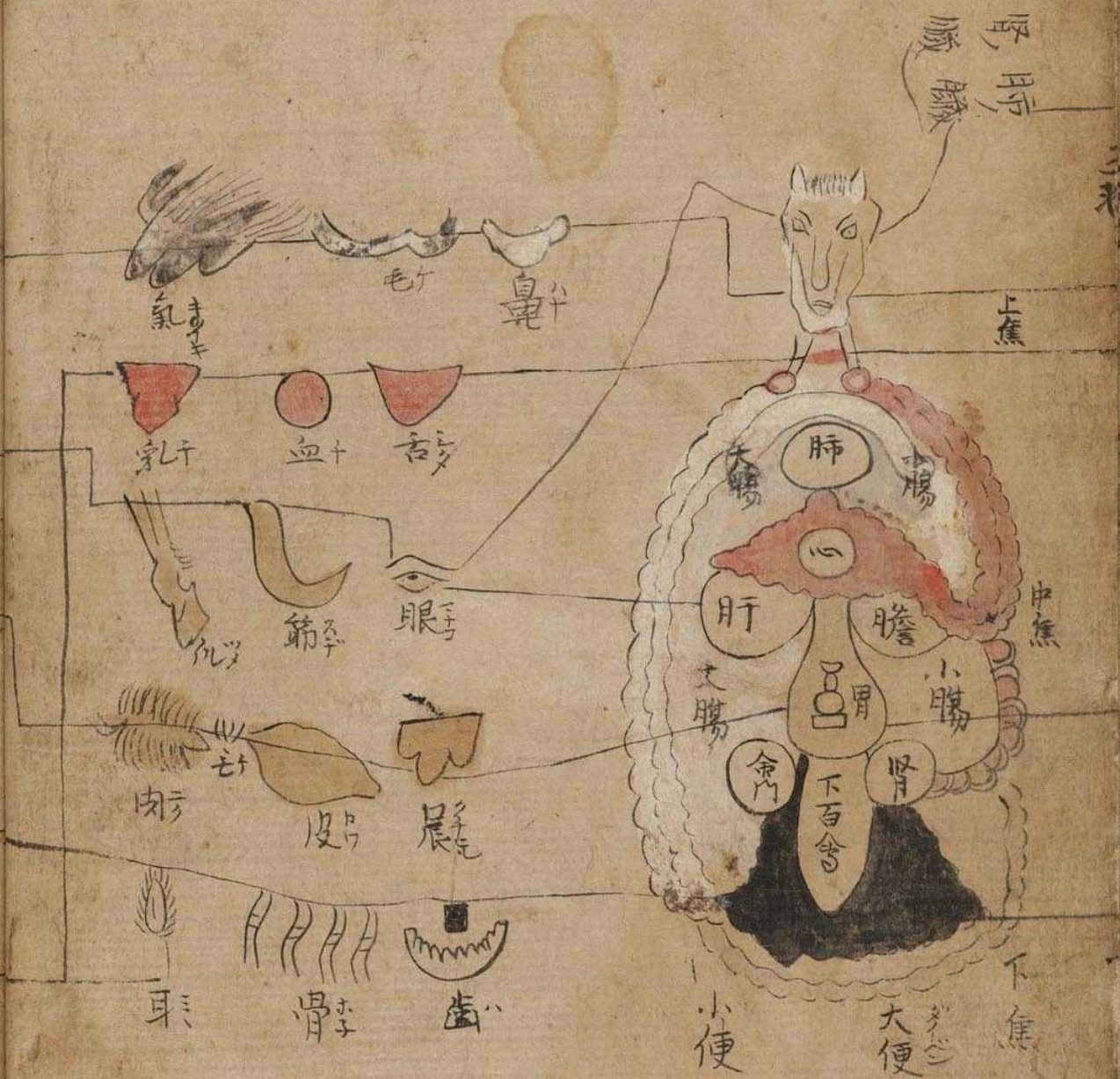
巳陰

午陽

寅陽

卯陰





一天五形 肝眼心舌肺鼻脾膚腎耳

一中五形 肝面脾平鎖背心胸肺腹腎百會

一施五形 肝眉左足心眉右肺跡右足腎後左足

脾尾

一以五色 病知事 舌見 肝青 心赤

脾黃 肺白 腎黑

一以五音 病知事

宮平調肺臟

商雙調肝臟

角黃涉心臟

徵盤涉腎臟

羽一越脾臟

同調子出返事 夢密

雙調黃涉反 黃涉一越反 一越平調反

平調盤涉反 盤涉調離反反ヤ

一盤調子反反之反

盤涉調平調反 平調一越反 一越調黃涉反

黃涉升調反 升調盤涉反 以上生死二能可

一東ヒカシ虛コク空クウ藏ザウ
ナラフ南ミナミ觀カン音オン
ナラフ西ニシ文モン珠ジュ菩ポ薩サ
ナラフ北キタ地チ藏ザウ
 中央不動明王

皇帝元年撰之

古河僧正末孫

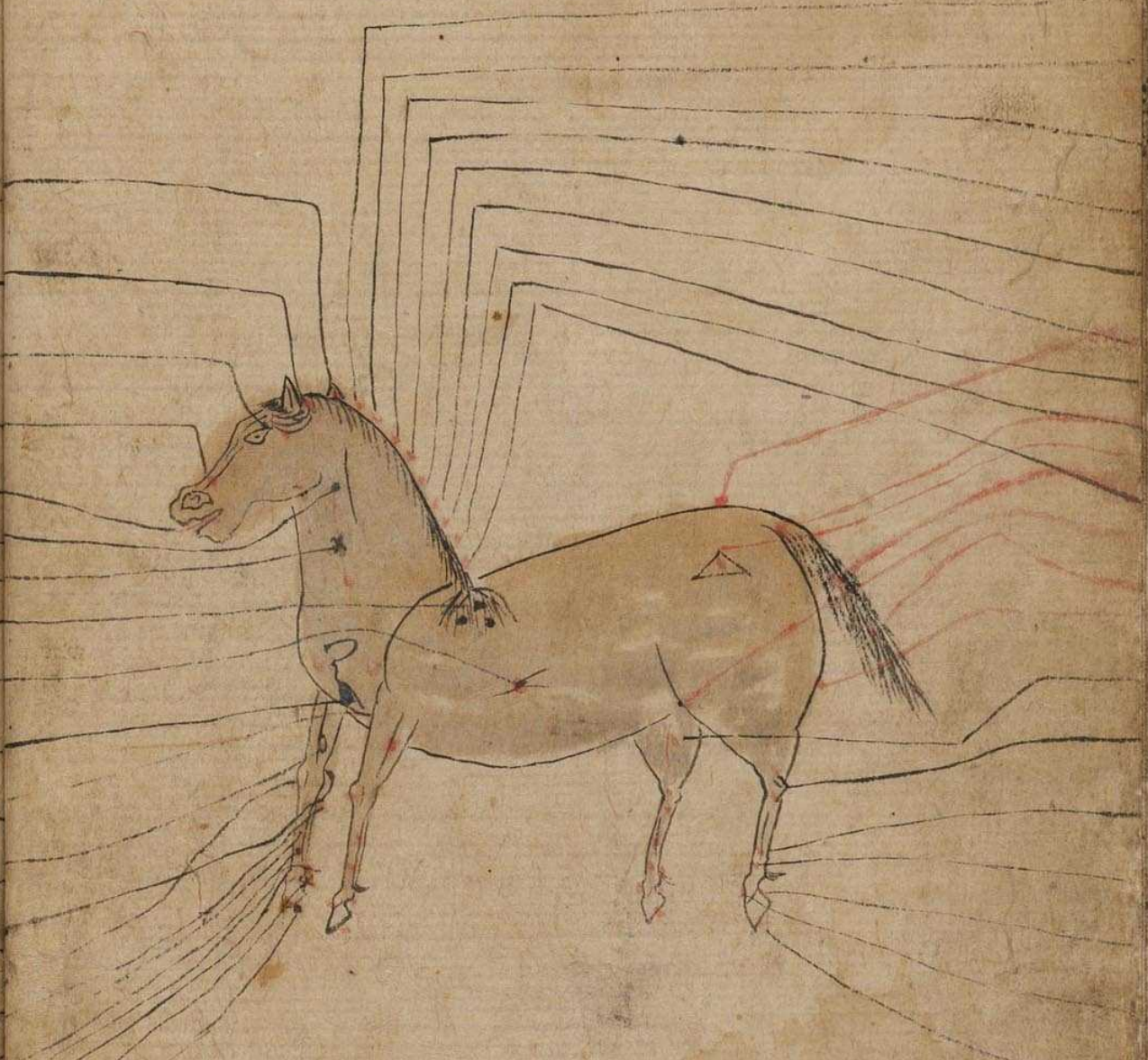
武易廳鼻和住

安西孫次郎

馬惣針之次郎

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Chinese or a related East Asian language. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines across the left page. Some characters are written in red ink, possibly indicating specific points of interest or emphasis. The script is fluid and somewhat stylized, characteristic of historical Chinese calligraphy.



馬之血灸之次第

一血忌之度 二月 未 三月 四月 五月 申

六月 酉 七月 辰 八月 戌 九月 巳 十月 亥 十一月 子 十二月 丑

一血止取きくになすの方へ引きて縄^{ナワ}撫^{ユス}きかせん

一春三月ハ肝の脈^{サウラス}王なりハ眼脈^{サウラス}也目のよりうらうらしく

一夏三月ハ心の脈^{サウラス}王なりハ針^{サウラス}ハさるゝもふかぬもろく

一秋三月ハ肺の脈^{サウラス}王なりハ針^{サウラス}ハさるゝもふかぬもろく

一冬三月ハ腎の脈^{サウラス}王なりハ針^{サウラス}ハさるゝもふかぬもろく

一四季と種々ぬきふハ目^{サウラス}ハさるゝもふかぬもろく

一肝の脈^{サウラス}王なりハ針^{サウラス}ハさるゝもふかぬもろく

一心の脈^{サウラス}王なりハ針^{サウラス}ハさるゝもふかぬもろく

一脾の脈^{サウラス}王なりハ針^{サウラス}ハさるゝもふかぬもろく

一肺の脈^{サウラス}王なりハ針^{サウラス}ハさるゝもふかぬもろく

一腎の脈^{サウラス}王なりハ針^{サウラス}ハさるゝもふかぬもろく

五臓乃血のむりき度

一肝臓之血 一斗^{サウラス} 十二兩 一心脏之血 四斗^{サウラス} 十二兩

一脾臓之血 三斗^{サウラス} 十二兩 一肺臓之血 二斗^{サウラス} 十二兩

一腎臓之血 二斗^{サウラス} 十二兩

右此血のむりき加減と云々血といふは

一春三月肝の筋のくまひ

夏三月心の筋のくまひ

一土用、脾の筋のくまひ

秋三月肺の筋のくまひ

冬三月腎の筋のくまひ

いふに血をわたりて

これハ其の血ハ金にたとへるの血ハわかれりとも

一爪折り之事

長サ六寸五分廣サ一寸八分これハ肝のくまひと表裏なり

一爪折り之事

柄寸三寸五分ニ寸五分ハ腎のくまひと表裏なり

一筋のくまひ

節より六寸下ハ脊は脾のくまひと表裏なり

一足結繩

長サ六寸五分ハ心のくまひと表裏なり

一賦繩、其ハ一尺ハ肺の大腸筋をひきりて

一土用、血忌

正月

二月

三月

四月

五月

六月

七月丁亥 八月丙辰 九月辛酉 十月癸酉 十一月丙子 十二月己亥日や

渡身喜殿

天正拾七年正月吉日

安騎針灸圖第三

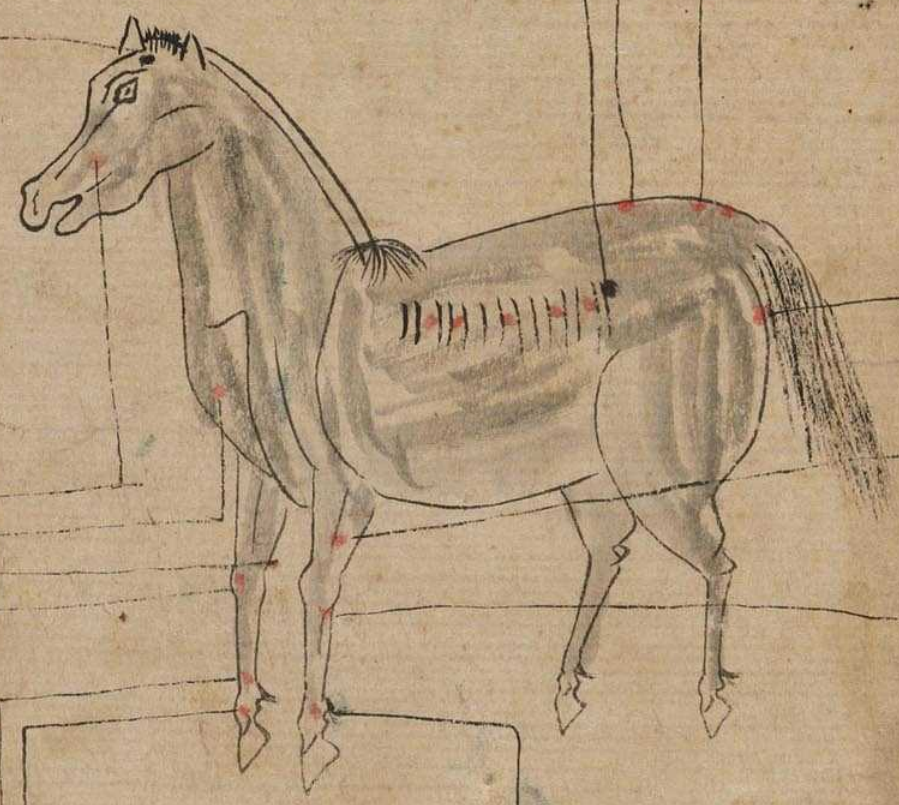
六陽の針灸を各病證の爲に
 用ふは此の如し（一）
 陽明の針灸は此の如し（二）
 少陽の針灸は此の如し（三）
 太陽の針灸は此の如し（四）
 太陰の針灸は此の如し（五）
 少陰の針灸は此の如し（六）
 厥陰の針灸は此の如し（七）

諸病の針灸は此の如し（八）
 諸病の針灸は此の如し（九）

諸病の針灸は此の如し（十）

諸病の針灸は此の如し（十一）

諸病の針灸は此の如し（十二）



白喉二合肝の癰七箱"心"十箱"心"心

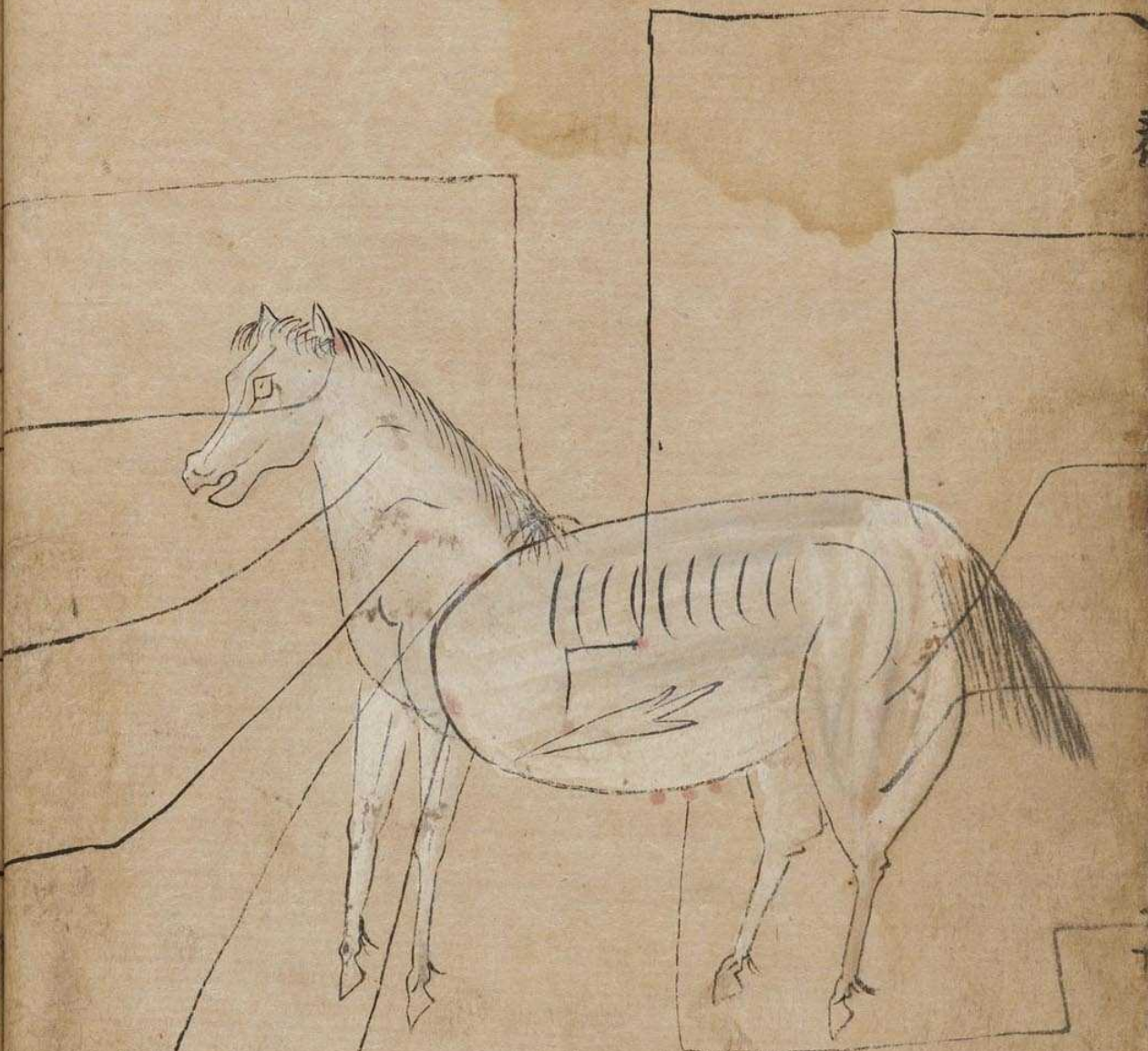
尾二合肝の癰七箱"心"十箱"心"心

心二合肝の癰七箱"心"十箱"心"心

心二合肝の癰七箱"心"十箱"心"心

心二合肝の癰七箱"心"十箱"心"心

心二合肝の癰七箱"心"十箱"心"心



光四六時分
 二五時分
 中時分
 上時分
 下時分
 時分

50 蘇大德 "Waldmühl" + "Gardhofen"
12 10 11 "Gardhofen" + "Waldmühl"

此乃痛下金日之序

[illegible]

脾の病の癰腫は二谷三々一と研之

附 2 號 11 月 10 日 收 到 廣 告 費 2 元
 4 元 2 角 5 分

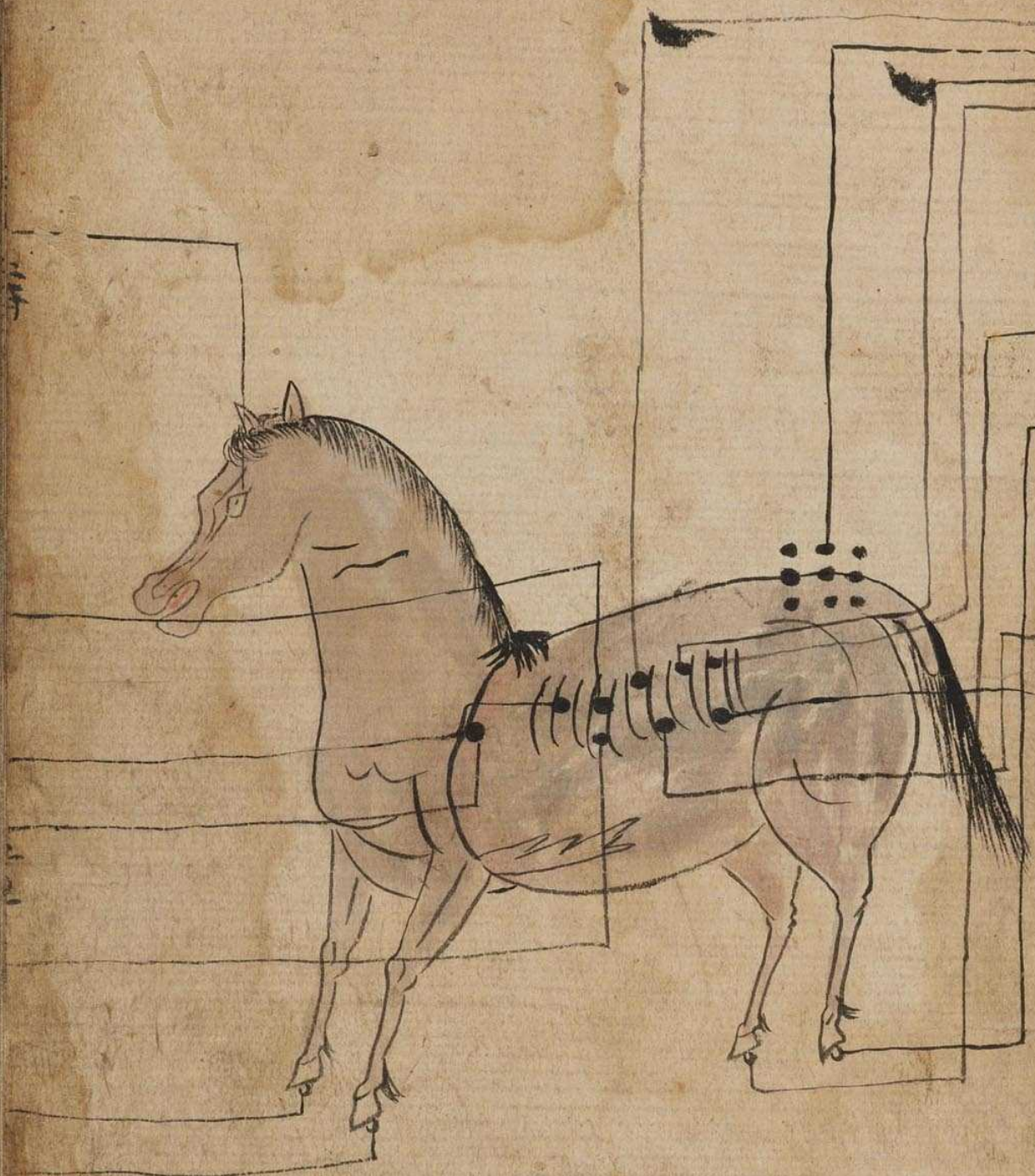
大正十一年四月廿四日
 日本銀行東京支店

第六十七回 孫悟空大鬧天宮 玉皇大天尊降旨捉拿孫悟空

賢は縁たひ元の徳一皮の如く、
 其の如し

肺は心の一の葉なり故に心は肺を以て母とす

2005-10-10



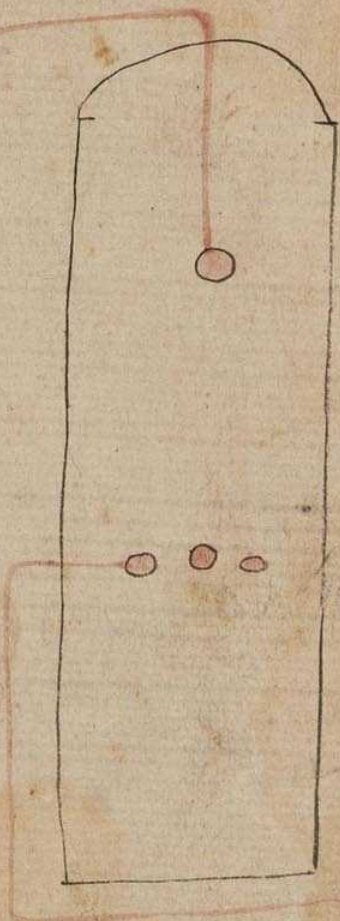
[illegible]

凡書與書

家らの汁ありくはさるあぢき
 ぬけふくおうてくれくるを
 さいくふくはくすて他は
 ていすす病のくはるを
 ていすす病のくはるを



てんしすにふ魚おーさる
うげふ一切の足の病さる
くさいの針右の体のくさいの病さる
舌の下りみふくさいの病さる



味のさるみふ病さる
一のさるみふ病さる

秦始皇



伯樂天

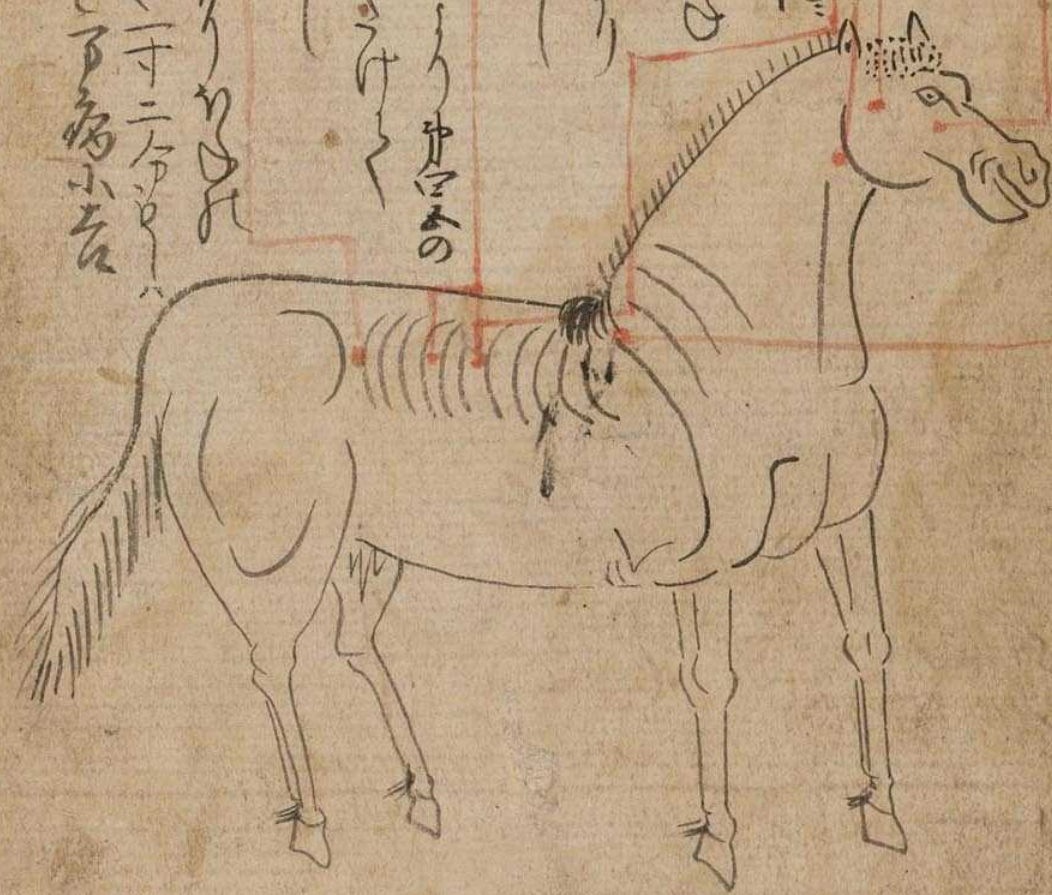
白



うやうやう
とうとうと
とんとんと
とんとんと

肝の病膽の収まり中二つの
りひの月二天守さけく
石とさす

年々針はにやりなり
もろなりやうきす二合
ふふややくやう病小



一甲乙の目^{キョウ}肝^{カン}の眼^{ガン}よりふらふ下しけ猿と病付れぬ眼^ニ
たあり又いふめれハ眼^{ガン}を眼^ニは移つあれハ眼^ニありかん
ちうくしら付ハ眼^ニよりあゝとあらん又やうつこさういふ
あり又はこのまをそそそ我肝のぞけれ病ともぞ
け猿の病れ名とれきもありともえせんとえやいなき
あぞこれあひとらの一ざ三まともす

一白木

陳皮

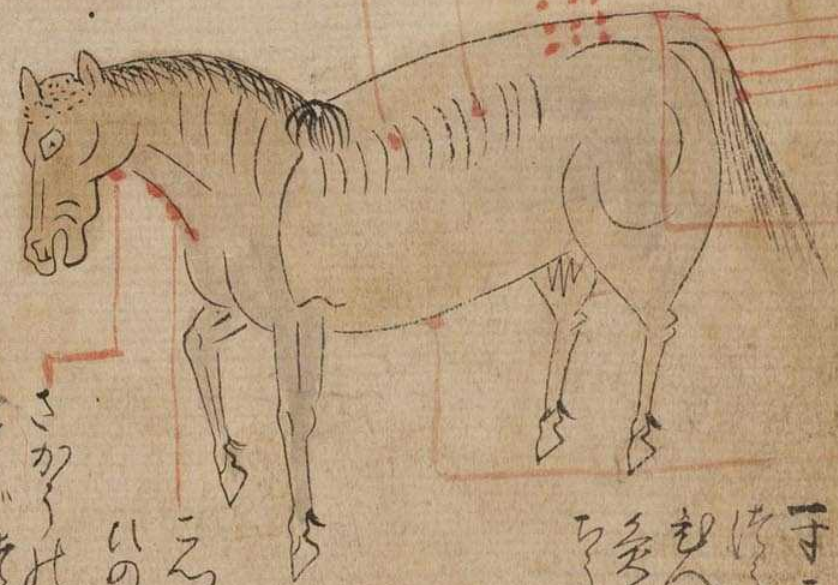
卷之五

燒塔三法

そふふふふ

よき酒天目をいれてあつる。ヤミツバがいのゆとせが
 祓りうらへて守さげく賣し又たその口口のけつに
 流るひの下れりや又た風のみのひよりすさげそ
 たをさすくじくの病と流るるや又子候のまうり
 収まりオモくるせりのり守さげくさすシユコハダ
 半巻の汁とすくころりひのふもこ又須弥陰の
 ろりとすくころりひのふもこ又須弥陰の
 収まりとすくころりひのふもこ又須弥陰の
 は計のやさ馬放あすしこれあをさすたのたなりと

4th Overland "it cost no more than
 1/2 m - 2 m -
 1/2 m - 2 m -
 1/2 m - 2 m -
 1/2 m - 2 m -



雲門のやそのあつし
す二ふふあり百病
はふじひのぞうれ
むへうけるさへ
ふふしふかく
ちとふひふれ

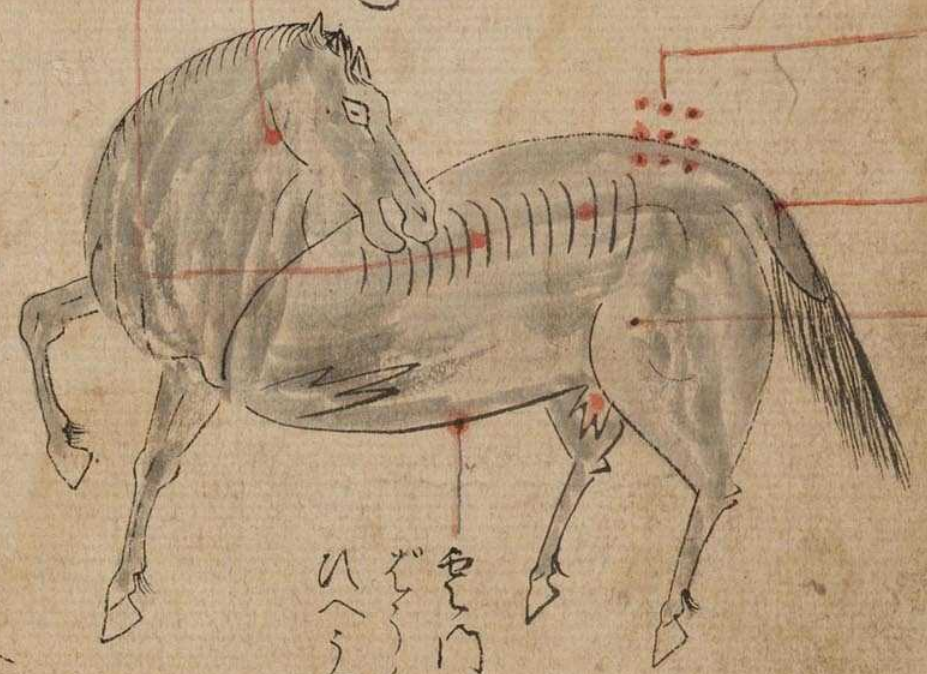
いのかしら

さかづけより一ふふ喜の心
もいけりある者同はるべし

[illegible]

鬼
尸噫々如律令

大風門万痛
右左とさうやくし
病これよりせよ



右門よりさす二寸
さす二寸のふ
ひへらけるなり

子後のもうさるひさすちてさるさかき病なり

一王矣の目れ病必腎のさるよりせよ

いさひとせられ左右の肩にわたりあり又肩とさう腰と
痛きありせうらと又口のまわりもさうなりこれハ
けさうよりおこるありけあをハ骨光とさう病にさうと
さう病の時獅子桑と云病にさうなりぬきれさうなり
わくさるなりありけ病のされしむれ一さうなり
三味をわたり一良香五 桂心 五味子 日 當飯 日 多
そとホ介よ金でさう酒天目三てい塩又後さうと
さうさしきにあゆさハ腎の腑とさうし日さふ
あさりありこのさうさる腎のうさる也腎の
名あり右令門左腎にけはせり守り守り
さうさるなり又雲門をさうさるなり又大さる
日百舎九穴さうさるなり一さるなり千岐才六七さる
さるなりさるなりさるなりさるなりさるなり
尾上守りてさるなり又腎さるなりさるなり

三
ミ
リ
ド
御門ヨリ馬ノ父母来タリ遠征スル今朝之千歳血庭議具法

同哥曰

シテサ文澤ニ此哥ヲ讀而何モニ返



子日盍

子日の病おれ山宗米谷紙十牧表竹
 是の病と成ちとて

としきせふらんまゐりのおとよ一匹七たゞしきり水三杯
 入るをぬきあがりてさうてきりて一箇より二箇加
 えて一夜せしめぬきあがりてさうてきりて一箇より二箇加
 へてそのるまゝ一針灸とてし千帳の子巻海糸
 法のとてしとてきりてさうてきりて一箇より二箇加

丑日病



丑の月此爲り丑ノ立、カミラ非^ハ出^ル宗^シ桃の本と云ふす。さうで
弓の上下に旗と付てなるのうへと三度あそび、カミラ家々

け目の病とんいりりともくきふれ一ふびらに一萬歳を幸
 衣食くうう酒しニせつ一衣きり病くぐじうや八百金を肉
 者きうげをうきふきいなるの汁れきいり

刀目畜



刀の目の病、刀の舌のあふれたるりれ汁れきうりしをぬ
 むにみいりし又かきと赤ききりき食いりてるのこと

三交玉女のりてきり今け病の志とて腹ひふとちききき
 海門の毛をさちのさきいりし又鯉のしをさききき
 さけしきりてし子後きききききききき

糸目痛



卵の目の病をきききききききききききききききき
 心経三巻きききききききききききききききき
 ききききききききききききききききききききき

りんたろうやいあうやうやい一どくだも ぶらりん太
 うぐしきざん柳のももくくくうけくセムト ぼろを
 うぐしきざん柳のももくくうけくセムト ぼろを
 百金とせうきとせ

辰目痛



辰の日の病は山の方の赤れりし米三合をさうくは
 光明真言サハ一返ともきくねるをいへりて三合う

今一は日病をいふ風と云せきん一ひとくきん
 おどきこそとせやきんうぐしきざん柳のももくく
 うけくセムト ぼろを

巳目痛



巳目病をいふ西の方の赤れりし米三合をさうくは
 光明真言サハ一返ともきくねるをいへりて三合う

今又あらうまふまげのひとふき酒を
 して千原年巻又番をあげとてやん

午日病



午の病面三十一のすの糸れきりしきとぎをゆてきりし
 け内ノ見の病とけしきとぎとぎをゆてきりし

夢夜一くたにうらひくらもあふぎのあそぶ何事
こりてるげんぐし針八十段と多くと云へ

未日晡



未のり此病ハ未の方乃此れなりしを京白テ申候。にげ目ハ
キアヒと云々と云々。ハ考ふ。ゆと云ふ。そくく。ヤシ一鴨海を
根^{グシ}疾^{シク}答^{コタ}いの。にげら。をを。未ノ海。ん。く。し。汁。受。ハ。千。根
千巻。と。く。く。を。と。ゆ。く。

いし月卯亥子巳午の付あし

丑未

申酉

のときとあり死する

お

一雨下り目病うけ茶ハはぐさゆれ能くうぐすたせ

一氏己の目病うけ茶ハはぐさゆれ能くうぐすたせ

一未辰戌の付あし

一辰辛ノ目病うけ茶ハはぐさゆれ能くうぐすたせ

一丑未辰戌の付あし

一子癸ノ目病うけ茶ハはぐさゆれ能くうぐすたせ

一酉申ノ目病うけ茶ハはぐさゆれ能くうぐすたせ

一卯辰戌の付あし

一辰辛ノ目病うけ茶ハはぐさゆれ能くうぐすたせ

一丑未辰戌の付あし

一子癸ノ目病うけ茶ハはぐさゆれ能くうぐすたせ

一酉申ノ目病うけ茶ハはぐさゆれ能くうぐすたせ

一卯辰戌の付あし

一辰辛ノ目病うけ茶ハはぐさゆれ能くうぐすたせ

一丑未辰戌の付あし

一子癸ノ目病うけ茶ハはぐさゆれ能くうぐすたせ

一酉申ノ目病うけ茶ハはぐさゆれ能くうぐすたせ

一卯辰戌の付あし

一辰辛ノ目病うけ茶ハはぐさゆれ能くうぐすたせ

一丑未辰戌の付あし

一子癸ノ目病うけ茶ハはぐさゆれ能くうぐすたせ

一酉申ノ目病うけ茶ハはぐさゆれ能くうぐすたせ

一卯辰戌の付あし

一辰辛ノ目病うけ茶ハはぐさゆれ能くうぐすたせ

一丑未辰戌の付あし

一子癸ノ目病うけ茶ハはぐさゆれ能くうぐすたせ

一酉申ノ目病うけ茶ハはぐさゆれ能くうぐすたせ

一卯辰戌の付あし

右海しち変此書巻約金や

